

八千代町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (31年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 29年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
30年度	22,286	8,113,935	444,574	1,297,463	16.0	16.8

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

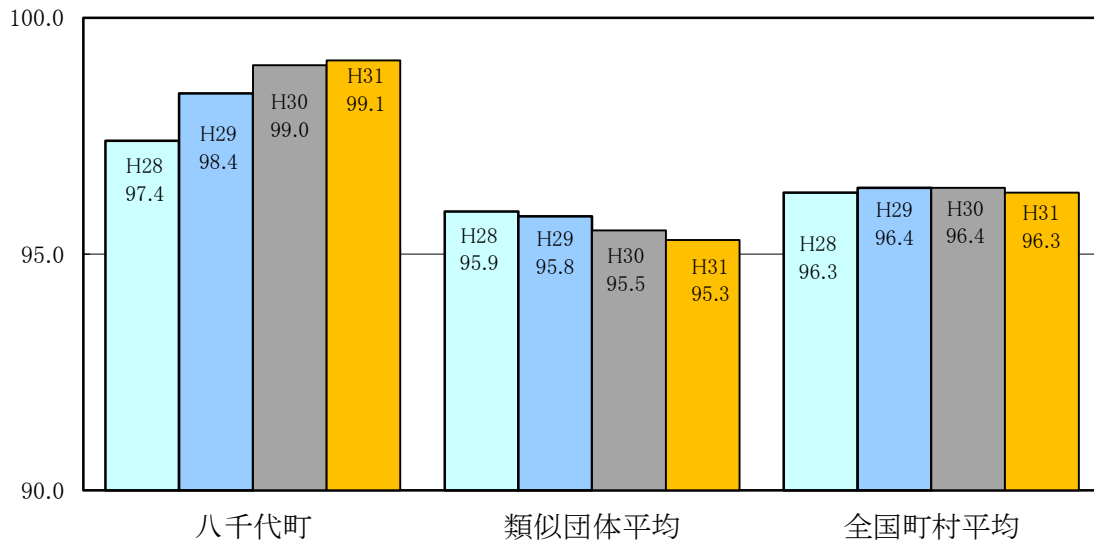
区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
30年度	158	578,756	59,563	232,213	871,048	5,513	5,807

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、30年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

現在人件費抑制のため、八千代町第3次行財政集中改革プランによる職員数の計画的な削減や時差出勤制度等の導入による時間外手当の削減などを行っているが、引き続き人件費削減に努める。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

① 給料表の見直し

[実施]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げた。世代間の給与配分の適正化を図る観点から高齢層の給与を抑制した。また、激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

② 地域手当の見直し

支給なし

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

(5) 特記事項

1、土曜日の午前中に戸籍住民課窓口業務の一部を行い、住民の利便を図っている。このため職員は振り替え休日に対応して、時間外手当の削減に努めている。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(31年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
八千代町	41.3歳	311,885円	344,770円	330,259円
県	42.7歳	330,403円	416,866円	374,250円
国	43.4歳	329,433円	—	411,123円
類似団体	43.7歳	318,255円	368,810円	344,533円

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均 年齢	平均給与月額 (B)	
八千代町 (学校給食員)	48.3歳	7人	236,700円	245,341円	241,129円	調理士	46.2歳	255,100円	0.96
茨城県	55.1歳	196人	320,419円	370,977円	349,319円				
国	50.9歳	2,431人	287,312円	—	329,380円				
類似団体	52.8歳	10人	303,581円	312,219円	308,888円				

区 分	参 考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員（C）	民間（D）	C/D
八千代町	3,997,387 円	3,358,000 円	1.19

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成28年～30年の3ヶ年平均）
 ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
 ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③ 看護職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
八千代町	50.5 歳	352,275 円	362,940 円	352,275 円
茨城県	—	—	—	—
国	47.1 歳	315,908 円	—	352,289 円
類似団体	44.1 歳	302,754 円	351,312 円	322,293 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、31年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

3 また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（31年4月1日現在）

区 分		八千代町	茨城県	国
一般行政職	大学卒	180,700 円	187,200 円	180,700 円
	高校卒	148,600 円	153,000 円	148,600 円
技能労務職	高校卒	146,000 円	150,700 円	—
	中学卒	—	141,900 円	—
看護保健職	大学卒	206,100 円	—	—
	高校卒	—	—	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（31年4月1日現在）

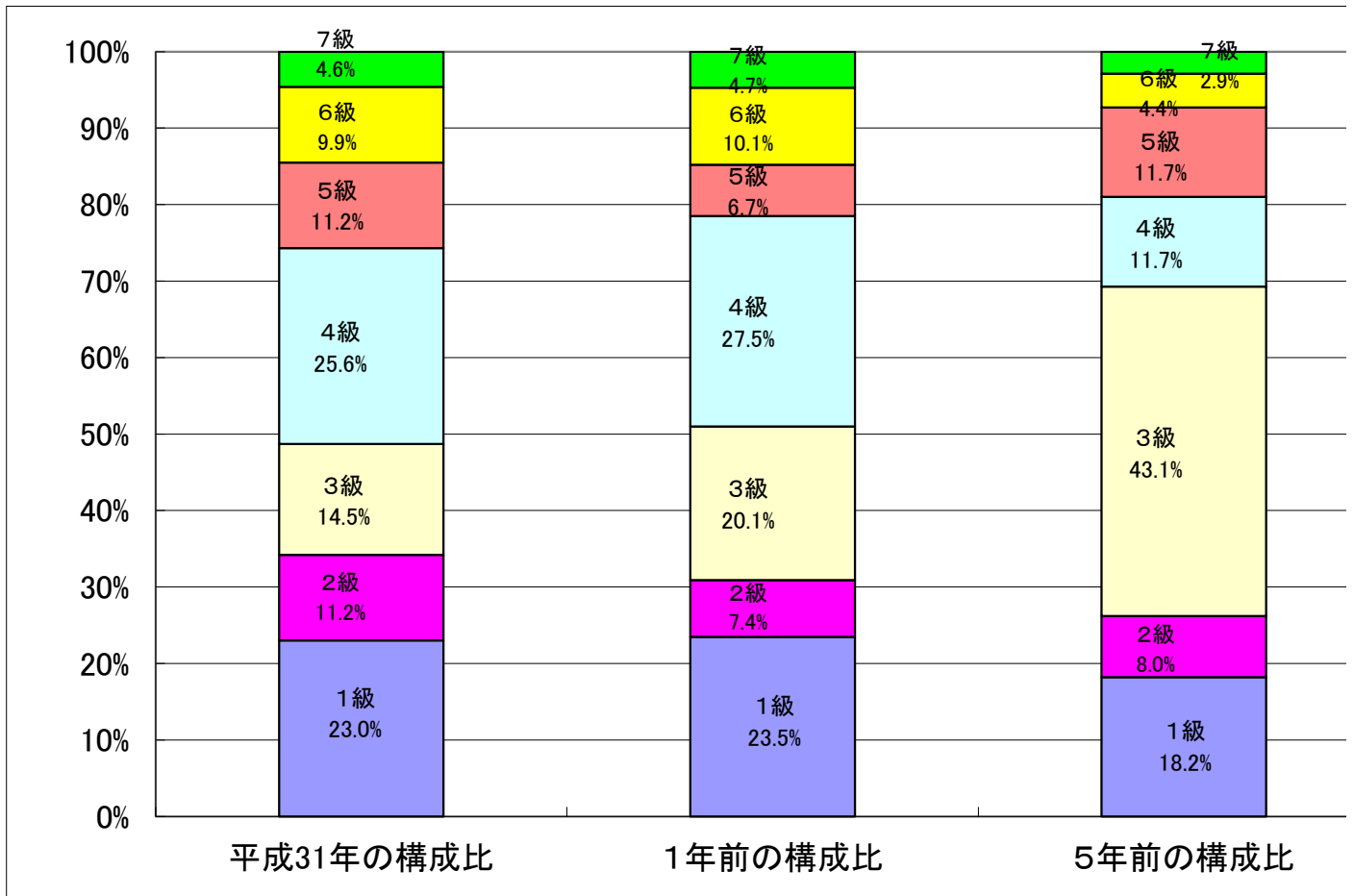
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	259,700 円	343,000 円	386,000 円	395,750 円
	高校卒	— 円	— 円	352,600 円	356,600 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

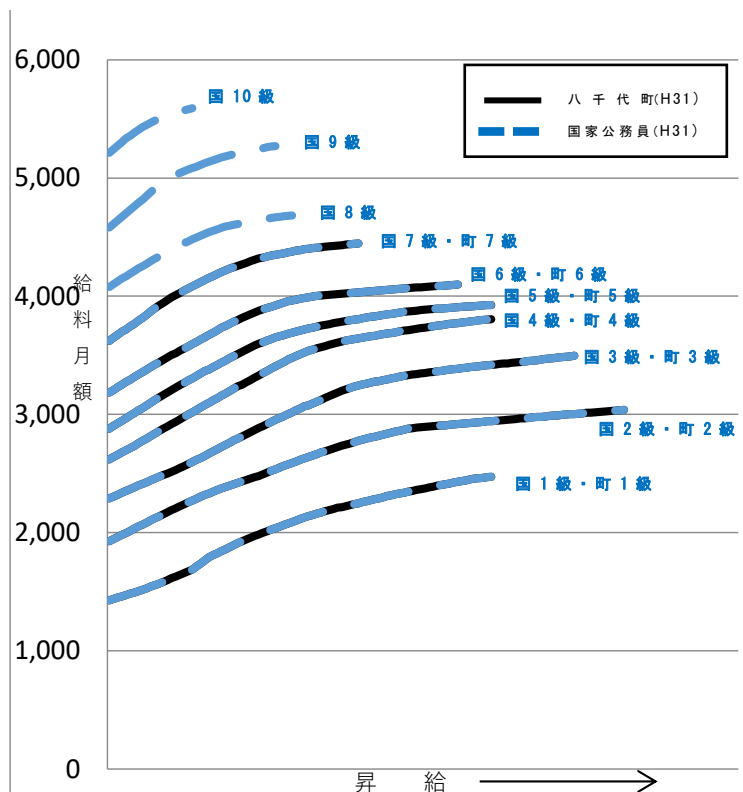
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（31年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
1級	主事補・技師補の職務 主事・技師の職務	35人	23.0%	144,100円	247,600円
2級	主任の職務	17人	11.2%	194,000円	304,200円
3級	主幹・係長・室長・班長の職務	22人	14.5%	230,000円	350,000円
4級	主査の職務 課長補佐の職務	39人	25.6%	263,000円	381,000円
5級	困難な職務を分掌する 課長補佐の職務	17人	11.2%	288,900円	393,000円
6級	課長・局長・所長・館 長の職務	15人	9.9%	319,200円	410,200円
7級	公室長・部長の職務	7人	4.6%	362,900円	444,900円

- (注) 1 八千代町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（31年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（八千代町）

平成 31 年 4 月 2 日から令和 2 年 4 月 1 日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分	○		○	
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				○
標準の区分のみ（一律）		○		
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

八千代町	茨城県	国
1人当たり平均支給額（30年度） 1,524 千円	1人当たり平均支給額（30年度） 1,820 千円	—
(30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.85月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.85月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.85月分 (1.45)月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～20% ・管理職加算15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～20% ・管理職加算10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○ 勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（八千代町）

平成 31 年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率
上位、標準、下位の成績率	○		○	

上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ（一律）		○		○
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当（31年4月1日現在）

八千代町	国
（支給率） 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2～20%加算）	（支給率） 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2～45%加算）
1人当たり平均支給額 14,884千円	

（注） 退職手当の1人当たり平均支給額は、29年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（31年4月1日現在）

支給実績（30年度決算）	0千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）	0円		
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
	%	人	%

(4) 特殊勤務手当（31年4月1日現在）

支給実績（30年度決算）	0千円			
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）	0円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（30年度）	0.0%			
手当の種類（手当数）	2			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（30年度決算）	左記職員に対する支給単価
感染症防疫作業手当	感染症防疫作業従事職員	感染症防疫作業	一千円	日額300円
精神障害者収容作業手当	精神障害者収容作業従事職員	精神障害者収容作業	一千円	1回当たり300円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（30年度決算）	19,188千円
職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）	129千円
支給実績（29年度決算）	24,616千円
職員1人当たり平均支給年額（29年度決算）	174千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(30年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む

(6) その他の手当 (31年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (30年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (29年度年度決算)
扶養手当	配偶者6,500円、子1人につき各10,000円、その他扶養1人につき各6,500円	同		18,394千円	242,025円
住居手当	借間の場合、支給上限月額27,000円	同		4,888千円	232,743円
通勤手当	自動車等の使用距離 片道2キロ以上2,000円～31,600円	同		7,976千円	53,533円
管理職手当	部長級7級50,000円 課長級6級45,000円	異	支給額	12,840千円	558,261円

5 特別職の報酬等の状況 (31年4月1日現在)

区分		給料	月額等
給料	市区町村長	800,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額 841,000円 / 700,000円
	副市町村長	603,000円	673,000円 / 580,000円
報酬	議長	356,000円	356,000円 / 286,000円
	副議長	312,000円	312,000円 / 227,000円
	議員	295,000円	295,000円 / 181,000円
期末手当	市区町村長 副市町村長	(30年度支給割合) 3.45月分	
	議長 副議長 議員	(30年度支給割合) 3.45月分	
退職手当	市区町村長 副市町村長	(算定方式) 給料月額×在職年数×5.5 給料月額×在職年数×3.1	(1期の手当額) 17,600,000円 7,477,200円
	備考		

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

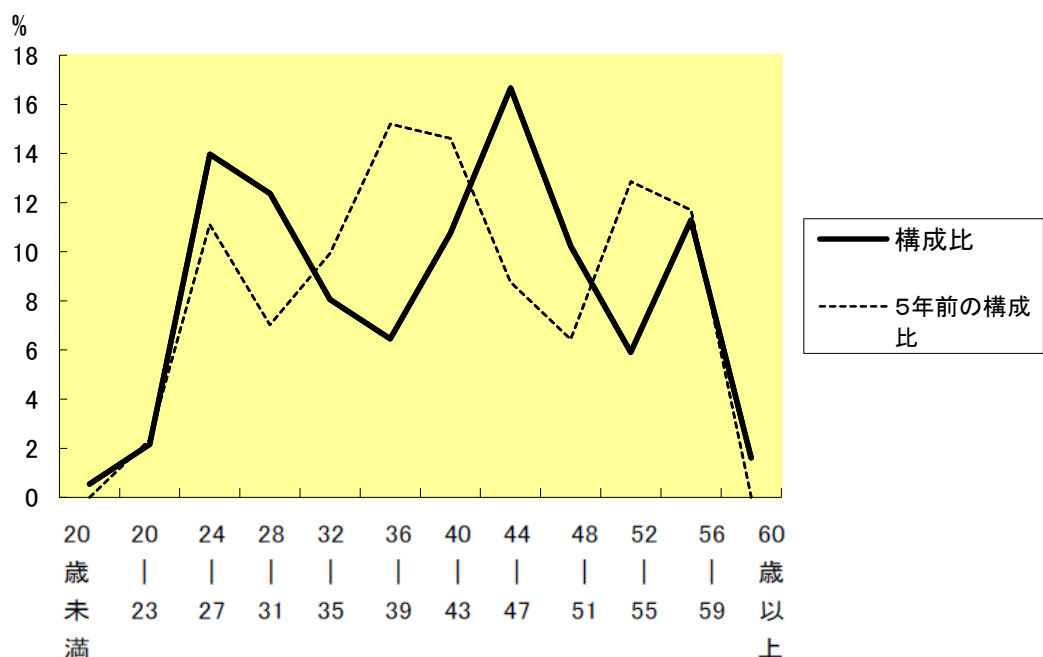
(各年4月1日現在)

部 門		区 分	職 員 数		対 前 年 数 増 減	主 な 増 減 理 由
			平成30年	平成31年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	総務	51	52	1	租税債権機構へ派遣による補充 広域事務組合への派遣による補充 <参考> 人口1万人当たり職員数 56.99人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 83.25人)
		農林水産	16	16	0	
		土木	9	9	0	
		税務	15	16	1	
		民生	16	17	1	
その他		16	17	1		
計	123	127	4			
	教育部門	31	31	0		
	消防部門					
	小 計	154	158	4	<参考> 人口1万人当たり職員数 70.90人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 111.80人)	
公 営 企 業 計 等 部 門	水道	4	4	0		
	下水道	6	6	0		
	その他	19	18	-1		
	小 計	29	28	-1		
合 計		183	186	3	<参考> 人口1万人当たり職員数 83.46人	
		[195]	[195]			

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (31年4月1日現在)



区 分	20歳 未 満	20歳 } 23歳	24歳 } 27歳	28歳 } 31歳	32歳 } 35歳	36歳 } 39歳	40歳 } 43歳	44歳 } 47歳	48歳 } 51歳	52歳 } 55歳	56歳 } 59歳	60歳 以 上	計
職員数	1人	4人	26人	23人	15人	12人	20人	31人	19人	11人	21人	3人	186人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年 度	26年	27年	28年	29年	30年	31年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	111	115	115	123	123	127	16(14.4%)
教育	31	31	31	29	31	31	0(0%)
消防							(%)
普通会計計	142	146	146	152	154	158	16(11.3%)
公営企業等会計計	29	30	30	29	29	28	-1(-3.4%)
総合計	171	176	176	181	183	186	15(8.8%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 29年度の総費用に占 める職員給与費比率
30年度	千円 291,380	千円 177,957	千円 27,627	% 9.5	% 9.2

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
30年度	人 4	千円 15,014	千円 1,390	千円 6,183	千円 22,587	千円 5,647	千円 6,181

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、31年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（31年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
八千代町	39.0歳	330,300円	470,579円
団体平均	44.3歳	340,929円	514,169円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

八千代町	八千代町（一般行政職）
1人当たり平均支給額（30年度） 1,546 千円	1人当たり平均支給額（30年度） 1,551千円
(30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.85月分 (0.90)月分	(30年度支給割合) 期末手当 2.60月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.85月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～15%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（31年4月1日現在）

八千代町	八千代町（一般行政職）
(支給率) 自己都合 19.6695 月分 応募認定・定年 24.586875月分 勤続20年 19.6695 月分 勤続25年 28.0395 月分 勤続35年 39.7575 月分 最高限度額 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2～20%加算） 1人当たり平均支給額 - 千円	(支給率) 自己都合 19.6695 月分 応募認定・定年 24.586875月分 勤続20年 19.6695 月分 勤続25年 28.0395 月分 勤続35年 39.7575 月分 最高限度額 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2～20%加算） 1人当たり平均支給額 14,884千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、30年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（31年4月1日現在）

支給実績（30年度決算）		0千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）		0円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度（支給率）
	%	人	%

エ 特殊勤務手当（31年4月1日現在）

支給実績（30年度決算）		0千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）		0円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（30年度）		0.0%		
手当の種類（手当数）				
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (30年度決算)	左記職員に対する支給 単価
-	-	-	- 千円	- 円

オ 時間外勤務手当

支給実績(30年度決算)	332千円
職員1人当たり平均支給年額(30年度決算)	111千円
支給実績(29年度決算)	353千円
職員1人当たり平均支給年額(29年度決算)	188千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(30年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当(31年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(30年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(30年度決算)
扶養手当	配偶者6,500円、 子1人につき各10,000円 その他扶養1人につき各 6,500円	同		420千円	210,000円
住居手当	借間の場合、支給上限 月額27,000円	同			
通勤手当	自動車等の使用距離 片道2キロ以上2,000円 ~31,600円	同		98千円	32,800円
管理職手当	部長級7級50,000円・ 課長級6級45,000円	同		540千円	540,000円